

メモリアルデー特別集会
メッセージアウトライン
(2013年5月24—27日)

主題：パウロの完成する務め

標語

わたしたちは神の言葉を完成する者になろうとするなら、命を与える霊としてのキリストを供給し、正当な地方の立場の上に、キリストの生ける表現として、召会と共に立たなければなりません。これがわたしたちの負担、わたしたちの務め、わたしたちの戦いです。
(M1. I. F.)

パウロの完成する務めの中心的なビジョンは、わたしたちの内容としてわたしたちの中におられる神、神の奥義としてのキリスト、キリストの奥義としての召会です。(M2. II.)

キリストにある信仰の最も尊い結果は、わたしたちが彼をわたしたちの中へと受け入れ、彼が命を与える霊として、今やわたしたちの霊の中に住み、わたしたちにクリスチャン生活の秘訣として経験させ享受させるということです。(M3. I. II. IV.)

わたしたちは主と一になって、わたしたちの魂の造り換えを通して命における成長を追い求め、からだを建造して一人の新しい人となる必要があります。(M6. VI. D.)

聖書：コロサイ 1:25-26. 使徒 9:4-6. 22:14. 26:16, 18-19

I. 「わたしは、……その奉仕者になりました。それは、……神の言を完成するためです」

——コロサイ 1:25：

- A. 神の言葉は神聖な啓示であり、新約が書かれる前には完成されていませんでした。
- B. 新約において、使徒たち、特に使徒パウロは、神の奥義（キリスト）とキリストの奥義（召会）に関して、神の言葉を完成しました—— 25 節. 2:2. エペソ 3:3-4。
- C. コロサイ第 1 章 26 節で「奥義」は、25 節における「神の言」と同意語です：
 - 1. この奥義はキリストと召会、すなわち、かしらとからだに関するものです——エペソ 5:32。
 - 2. 使徒パウロを通してこの奥義を明らかにすることは、神聖な啓示としての神の言葉を完成することです——コロサイ 1:25。
- D. 神の奥義としてのキリストとキリストの奥義としての召会の啓示に関して、パウロは神の言葉を完成し、わたしたちに神のエコノミーを完全に啓示しました——エペソ 1:10. 3:9. I テモテ 1:4。
- E. 今日わたしたちの経験において、神の言葉を完成するとは、わたしたちの日常生活の中でキリストを主観的に経験し、それによって正当な召会生活が出現し、三一の神をキリストにあって表現することです——ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17 前半. 1:22-23。
- F. わたしたちは神の言葉を完成する者になろうとするなら、命を与える霊としてのキリストを供給し、正当な地方の立場の上に、キリストの生ける表現として、召会と共に立たなければなりません。これがわたしたちの負担、わたしたちの務め、わたしたちの戦いです——I コリント 15:45 後半. 1:2. 12:12-13, 27。

II. 「主よ、あなたはどなたですか？」——使徒 22:8：

A. 「神が、喜んで御子をわたしの中に啓示し」——ガラテヤ 1:15 前半, 16 前半：

- 1. 神の心の願いは、御子をわたしたちの中に啓示し、それによってわたしたちが彼を知り、彼をわたしたちの命として受け（ヨハネ 17:3. 3:16）、神の子たちとなることです（1:12. ガラテヤ 4:5-6）。
- 2. 神の御子の生けるパーソンをわたしたちの中で明らかにし、啓示することほど、神を喜ばせるものではありません—— 1:15 前半, 16 前半. II コリント 3:14-18. 4:3-6。
- 3. 聖書の中心点は神の御子という生けるパーソンです。彼は三一の神の具体化であり、わたしたちの霊の中ですべてを含む霊として実際化され、わたしたちに彼を享受させ、彼の豊富にあずからせ、彼を生きさせます——I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17. ペリピ 1:19. ガラテヤ 6:18。

B. 「なぜわたしを迫害するのか？……わたしはあなたが迫害しているイエスである」

——使徒 9:4 後半, 5 後半：

- 1. この「わたし」は団体的であり、主なるイエスと彼のすべての信者から成っています。

2. これは宇宙における独特な啓示でした。なぜなら、それによってパウロは、主イエスと彼の信者たちが一人の大いなるパーソン、すなわち、すばらしい「わたし」であることを見始めたからです。
 3. 団体の「わたし」の啓示は、神の偉大な奥義としてのキリストと召会に関する将来の務めのために、パウロを印象づけ、影響し、彼の将来の務めのために堅固な土台を据えたに違いありません——エペソ 5:32。
- C. 「わたしがあなたに現れたのは、わたしを見た事と、わたしがあなたに現そうとしている事について、あなたを奉仕者、証し人として定めるためである」——使徒 26:16：
1. 奉仕者は務めのためであり、証し人は証しのためです：
 - a. 務めはおもに働きと関係があり、務めが行なうことと関係があります—— 13:2. 14:26。
 - b. 証しは人と関係があり、証し人であることと関係があります—— 1:8. 23:11。
 2. キリストがパウロに啓示した事は、これらの事の内容としてのご自身なしにはありませんでした。ですから、パウロはすべてのビジョンの中で、キリストを見ました。主はさらに多くの事をパウロに啓示しようとし、それらの事の中で主ご自身が彼に現れました—— 22:14-15. エペソ 1:17。
- D. 「わたしたちの父祖の神は、あなたが彼のみこころを知 [る] ……ように、あらかじめ定められました」（使徒 22:14）。神のみこころはキリストのためにからだを得て、彼の豊満、彼の表現とすることです——ローマ 12:2, 5. エペソ 1:5, 9, 11, 22-23。

III. 「主よ、わたしは何をすべきでしょうか？」——使徒 22:10：

- A. 「立ち上がって町に入りなさい。そうすれば、あなたのなすべき事が告げられるであろう」（9:6）。これはキリストのからだに関するパウロの認識と関係があります——コロサイ 1:24。
- B. 「彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、わたしにある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである」——使徒 26:18：
 1. 暗やみから光へ立ち返らせるとは、暗やみから光へと転換させることです。サタンの権威から神に立ち返らせるとは、サタンの権威から神へと移されることです—— 18 節 a. コロサイ 1:13：
 - a. サタンの権威とはサタンの王国であり、それは暗やみに属します——マタイ 12:26. ヨハネ 12:31。
 - b. 神へと移されるとは神の権威へと移されることであり、それは光に属する神の王国です—— 3:5. I ヨハネ 1:5。
 2. 罪の赦しは、新約のヨベルのすべての祝福の基礎です——使徒 26:18 b。
 3. わたしたちの目が開かれ、サタンの権威から神へと移された結果、わたしたちは嗣業を受けます。この嗣業は、三一の神と彼が持っているすべて、彼が行なったすべて、彼が贖われた民のために行なうすべてです—— 18 節 c. コロサイ 1:12. エペソ 1:13-14. I ペテロ 1:4。
 4. 神聖な嗣業は、キリストにある信仰によって聖別された人たちの間にあります。

この聖別は、地位上と性情の両方です——使徒 26:18 d. マタイ 23:17, 19. ローマ 6:19, 22。

IV. 「わたしは天のビジョンに背かず」(使徒 26:19)。このビジョンの中で、使徒は、三一の神を彼の選ばれ、贖われ、造り変えられた人の中へと分与して、神の永遠のエコノミーにしたがってキリストのからだを建造することに関する神聖な事柄を見ました——ローマ 8:11. エペソ 4:16. 1:10. 3:9。

© 2013 *Living Stream Ministry*